

## 2014 ゴードン恵美ワークショップ 入門（初参加）コースのクラス概要とご案内

### ●講師プロフィール●

#### ゴードン恵美

1995年にカリグラフィーを東京で習いはじめる。翌年、トーマス・イングマイヤー氏のワークショップを受け、海外でカリグラフィーを学ぶ事を決意する。2年の準備期間を経て、97年に渡英、98年にローハンプトンのカリグラフィー・ディグリー（学位）コースに入学する。2001年にこのコースを卒業後、2002年にケンブリッジにあるレターカッティング工房であるカードーゾ・キンダスリー・ワークショップ (Cardozo Kindersley Workshop) に入門する。2006年に長女出産のため退職するまでの4年半勤務する。

現在は独立し、レターカッティングとカリグラフィーの仕事を続ける。2002年、CLASのBrian Walker賞受賞、同年から2004年までSSIのAdvanced Training Schemeのコースに参加。その他、多数のカリグラファー、レターカッティングのワークショップやレクチャーに参加。



講師ウェブサイト: <http://www.tsukusidesign.com>

### ●レターカッティング・ワークショップ概要●

石に手彫りで字を彫るレターカッティング "Letter Cutting"（またはレターカービング "Letter Carving"と呼ばれる）は現在も英国国内だけではなく、ヨーロッパの国々で続けられている伝統工芸です。この入門コースではヴィーカット "V-Cut" と呼ばれる彫り方で文字を彫ることを学びます。このヴィーカットは、ローマ帝国時代に既にその手法が確立され、当時の碑石に使われていたローマンキャピタルの文字のほとんどはこの彫り方で彫られています。

イギリスではエドワード・ジョンストン (1872 - 1944) の教え子だったエリック・ギル (1882 - 1940) が、そのローマ時代の伝統的手法を彼の石碑の作品に多用し、彼のワークショップ（工房）で培われたレターカッティングの精神、技術、そして教法は、彼の弟子達を通じて今なお多くの職人の中に息づいています。この入門コースはそのギルの弟子であったデービッド・キンダスレー (1915 - 1995) の教法で主に進められます。

また、コース内では文字のレターフォーム、デザイン等を参加者同士で検討し合うクリティーク (Critique) と呼ばれるローハンプトン大学で採用されていた教法を導入し、生徒それぞれの作品をさまざまな側面から向上を目指すとともに、作品作りにおける生徒の自発性を伸ばしていきます。

### ●入門初回コースの目的●

石の彫り方だけでなく、道具や石の取り扱い方にも重点を置き、職人としての心構えを体感していただきます。

### ●入門初回コースの内容●

- 1日目 石と道具の取り扱い方 彫り方の注意点 各自持参したデザインのクリティーク
- 2日目 試し彫り デザインが終了した生徒さんは、デザインを石に写す作業
- 3日目 デザインを石に写す作業が終了した生徒さんは、石を彫り始める

使用する石の大きさ(縦 × 横 × 厚さ) 15 × 15 × 2 cm または、10 × 22.5 × 2 cm

★ 受講決定後、ご希望の石のサイズをワークショップ担当へご連絡ください。

### ●入門初回コースの宿題●

ワークショップで彫りたい石のサイズを上記のサイズからお選びください。その石と同じ大きさの枠をレイアウトペーパーに書き、そのサイズに合うローマンキャピタルで 1 単語 (例えば"ORIENT"など)を上下左右のマージンを考えながら書いて下さい。メインステムの幅が約 5mm で、エクスハイトがメインステムの 8~10 個分の高さの文字を目安として下さい。もちろん、基本的にはその他の大きさの字や数字でもかまいません。なお、デザインした文字や数字は鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。

また、デザインの参考にしたものやアイデアがありましたら、ワークショップ当日にご持参ください。

### <宿題の提出に関する注意事項>

デザインをご自身で考えている工程では、いくつかの言葉や文字・数字によるトライアルがあると思いますが、ワークショップの当日までに 1 つに絞ってください。その 1 つについて、最初に書いたデザインからワークショップ当日に提出するデザインに至るまでの工程が分かるように、書いたものに番号を記入して順番にまとめてご持参ください。

### ●当日の持ち物●

レイアウトパット、キッチンペーパー 1 ロール、カッターナイフ、カラダッシュ (CARAN d ACHE)社の水彩用鉛筆の白を 2 本(カラダッシュ社のものが手に入らない場合は日本製の水彩用鉛筆でもかまいません)、HB の鉛筆 2 本、定規、三角定規、白または黄色のチャコペーパー (文字を石に写すため)、細字のボールペン、エアパッキンまたはプチプチの包装用ビニール (石を保護するため) 100 cm × 100 cm を 2 枚、セロテープ、マスキングテープ、タオル(手を拭くためのもの)、古い歯ブラシ、デザインの修正に必要な筆記用具

※ 埃に弱い方は、マスクと目を保護する作業用のメガネなどをご持参ください

※ 鑿 (チズル) とダミーと呼ばれるハンマーは、ワークショップ中は貸し出しいたしますが、ワークショップ終了後にお持ち帰りになりたい方には、実費にて購入のうえお持ち帰りいただけます。イギリスより取り寄せるため、価格は購入時の為替レートによって変動します。予め、ご了承ください。

※ 鑿 (チズル) を磨く砥石、石を磨く耐水サンドペーパーと木製ブロックは、J-LAF で用意いたしますので、会場でご利用ください。

### 【お問合せ】

ご質問・ご確認がございましたら、[workshop@j-laf.org](mailto:workshop@j-laf.org) までメールでお送りください。

担当よりご返信いたします。